

坂出市教育委員会

小学校・中学校

1 実践のテーマ

坂出市ふるさと理解推進事業～感動体験を「ふるさと坂出を誇りに思う心」へつなぐ～

2 目標

児童生徒が地域の自然、歴史、文化、人々とのふれあいを通じて「ふるさと坂出」を深く理解し、郷土を愛する心を育むことを目的として、地域の魅力や課題に気づき、それを未来にどう生かすかを考える学びの場を提供する。

3 内容

本市の豊かな自然や教育的・文化的な資源を活用して体験的な学習、探究的な学習を実施し、自分たちの住んでいる地域やふるさと坂出への愛着や誇りに思う心、郷土に貢献しようとする意欲や態度の育成に資する。

【小学校】生活科や総合的な学習の時間を活用し、地域の自然、伝統・文化、歴史、産業など、児童が興味・関心をもって楽しく学べるような教育活動を計画・実践する。

(1)久米通賢を通して坂出の歴史を学ぶ…坂出市塩業資料館等の見



学・体験学習を通して、塩田の歴史や塩作りの今と昔の違いを学んだ。

(2)地域の防災について考える…校区自主防災組織、県防災アドバイザー等と連携し、防災施設について調べたり、防災ARアプリを活用



して発災時の状況を疑似体験したりして学んだことを防災マップにして発信した。

(3)「崇徳上皇を巡る旅」マップ作り…地域のゲストティーチャーと

ともに関連神社等を巡り、学んだことをマップにまとめ、学習発表会

で発表した。

(4)カヌー体験をはじめとした体験活動

(5)サヌカイトでリソフォン作り体験

【中学校】

瀬戸大橋体験学習…(株)本四高速の協力を得て、第2学年での職場体験学習と関連付けて、瀬戸大橋を直接体験する学習を行った。その後、社会科地理的分野の学習とも関連付け、橋がどのような存在であるかを多面的に考える授業を行った。生徒にとって当たり前の存在である瀬戸大橋が、ライフラインとして人々の生活を支える役割を担っているという新たな学びを得た。



4 成果と課題

【成果】児童生徒は、先人の偉業や歴史を知り、文化や自然に触れ、その魅力や良さを実感することができた。また、体験を通して地域のこれからについても考えることで、ふるさとや自分たちの生活に対する認識が深まった。瀬戸大橋体験学習には、不登校状況にある生徒のほとんどが参加できることから、今回の体験を通して、学校での学びがより豊かで多様なものとなり、学校生活への意欲も高まったといえる。また、教員において、地域を再評価する意識も高まった。

【課題】継続性の視点から、必要な人的・物的資源等を発掘・確保したり、効果的に組み合わせたりしていく必要がある。また、指導に当たる教員が地域の教育資源についての情報共有をしたり、体験したりすることが必要となる。